◆ TC205 の最近の動向 (2019/05/07 現在)

規格作業項目	作業進捗状況	stage	VA
TC 2	05 Building environment design (建築環境設計)		
Scope 見直し	・2007 年 11 月のカイロ会議にて Scope の見直し (「他 TC で扱っていない設備機器等の評価方法については TC205 でも扱うこととする」を追記) が提案され、投票終了。 最終判断は TMB にて判断となる。 ・2012 年 9 月 La Rochelle 会議にて TC163 と TC205 ともに Scope の見直し案を作成し TMB への審議に挙げ、2012 年 12 月に承認となった。		
ISO 16814:2008 (建築環境設計-屋内空気質 -居住者の為の屋内空気質の表現方法) Building environment design - Indoor air quality - Methods of expressing the quality of indoor air for human occupancy	 ・2006年4月締切DIS 投票に「賛成」で投票。 ・2007年11月締切FDIS 投票に「賛成」で投票。 ・2008年10月15日IS 発行 ・2012年3月締切SR投票に「継続」で投票。 ・2014年1月「継続」決定。 ・2015年3月31日のWG4解散に伴い親委員会に移管。 ・2019年1月SR投票開始(2019年6月4日締切)。 	90.20	
ISO/TC 205/AG 01 "Joint advisor	y group TC 163 - TC 205 – Coordination of ISO 52000 fam:	ily"	
	・2018年9月のオスロ会議で設立決定。		
	WG1 General principles (一般指針)		
ISO 16813:2006 (建築環境設計-屋内環境- 一般指針) Building environment design - Indoor environment - General principles ISO/PWI 23744 (建築環境設計-屋内環境- 既存建物の診断) Building environment design - Indoor environment - Diagnostic of existing buildings	 ・2005年9月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。 ・2006年4月締切 FDIS 投票に「賛成」で投票。 ・2006年5月15日 IS 発行 ・2009年9月締切 SR 投票に「コメント付き継続」で投票。 投票の結果、修正をかけての継続となった。 ・2011年2月締切 Amendmentの NWIP 投票に「賛成」投票。 ・2011年シカゴ会議にて改訂を NWIP とすることに決定。 ・2012年2月締切 NWIP 投票に「(設立) 反対」で投票。 ・2012年9月 LaRochelle会議にて、新たに各種 criteriaの定義並びに sustainability についての項目を加えた改訂に関する 2012年12月締切 NP 投票に「賛成」投票。 ・2013年9月ストックホルム会議にて Scopeの見直しについて各 WG convenor に問合せをすることとなった。 ・2013年1月新規プロジェクトとして承認。 ・2014年9月無錫会議においてCDスキップが承認された。 ・2015年12月締切 DIS 投票「コメント付賛成」で投票。 ・2017年9月 TMB Resolutionにて3年経過により削除。 ・2017年9月に復活。 ・2018年9月オスロ会議でフランス提案により、PWIとして登録。 	90.93	
	Design of energy-efficient buildings		
2015 年ヴィクトリア会議で、プロダクツを扱う ISO 13153:2012((Ed 1)省エネタイプ戸建住宅並 びに小規模商業ビルの設計手順の枠組み) Framework of the design process for energy-saving single-family residential and small commercial buildings	(省エネルギー建築設計)Ad hoc task groupe 設立決定(Resolution269)。・日本からの NWIP。第一回目投票は承認条件に至らず。 修正して再度の NP 投票を実施。その結果承認となった。・2010年6月締切CD 投票の結果、DIS 投票となった。・2011年8月締切DIS 投票に「賛成」で投票。・2011年シカゴ会議でタイトルの一部修正してFDISへ進むことが決定。・2012年8月締切FDIS 投票に「賛成」で投票。・2012年8月締切FDIS 投票に「賛成」で投票。・2017年12月締切SR 投票に「継続」で投票。	90.93	
ISO 16818:2008 (建築環境設計-省エネルギー設計-用語集) Building environment design - Energy efficiency - Terminology	 ・2018年8月「継続」決定。 ・2006年8月締切 DIS 投票「コメント付き賛成」で投票。 ・2007年12月締切 FDIS 投票「コメント付き賛成」投票。 ・2008年2月15日IS 発行。 ・2011年6月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2011年シカゴ会議で「修正なし継続」決定。 ・2015年9月ヴィクトリア会議で見直し決定。 	90.20	

	0010 年 4 日 CD 松亜明45 (0010 年 0 日 0 日 6 日 6 日 6 日 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
ISO/TR 16822:2016 (建築環境設計-暖房、換気、空調及び給湯機器-エネルギー効率に関する試験方法) Building environment design - List of test procedures for heating, ventilating, air-conditioning and domestic hot water equipment related to energy efficiency	 ・2019 年 4 月 SR 投票開始 (2019 年 9 月 2 日締切) ・WD が承認され CD としての審議の段階。 ・2009 年 9 月 4 日に削除となった。 ・2011 年シカゴ会議にて DTR として投票することに決定。 ・2012 年 11 締切 NP 投票に「コメント付き賛成」で投票。 ・2013 年ストックホルム会議でスコープの見直し決定。 ・2014 年 11 月締切 DTR 投票「コメント付き賛成」で投票。 	60.60	
emeleney	・2015 年 9 月ヴィクトリア会議で TR 発行決定。 ・2016 年 7 月 TR 発行。		
ISO/NP 22511 (省エネ非住宅建築物における冷房負荷削減のための自然換気設計法) Design process of natural ventilation for reducing	 ・日本提案。2016年9月のベルリン会議でNWIPとして投票することが決定。PLは赤嶺委員(Resolution287)。 ・2017年5月締切のNP投票に「賛成」で投票。 	10.99	
cooling demand in energy-efficient non-residential buildings	・2017 年 6 月新規プロジェクトとして承認。		
ISO 23045:2008 (建築環境設計-新規建築物の省エネルギー設計に対するガイドライン) Building environment design - Guidelines to assess energy efficiency of new buildings	・2007 年 7 月締切 DIS 投票「コメント付き賛成」で投票。 ・2008 年 11 月締切 FDIS 投票「コメント付き賛成」投票。 ・2008 年 12 月 15 日 IS 発行。 ・2012 年 3 月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2014 年 1 月「修正無し継続」決定。 ・2019 年 1 月 SR 投票開始(2019 年 6 月 4 日締切)。	90.20	
ISO/PWI TR 23764(ゼロエネルギー非住宅建築 物へのアプローチ法) Approach for non-residential Zero Energy	・日本提案。2018 年 9 月のオスロ会議で PWI として登録 することが決定。PL は師尾委員 (Resolution337)。	00.00	
Buildings (ZEB) WG3 Building Au	tomation and Control System (BACS) Design		
(E	ごル自動管理制御システム設計)		
Title と Scope の変更	・2011 年シカゴ会議で WG3 の Title と Scope 変更が決定。 ・2012 年 La Rochelle 会議にて Scope の変更が決定。		
ISO 16484-1: 2010(ビル自動管理制御システム 一第 1 部: プロジェクト仕様と実装) Building automation and control systems (BACS) - Part 1: Project specification and implementation	・2007 年 11 月のカイロ全体会議にて以前の第 1 部を廃止し、当時の第 7 部を第 1 部にリナンバリングしての NP 投票が実施されて承認となった。 ・2009 年 9 月締切 DIS 投票「コメント付き賛成」で投票。 ・2010 年 9 月締切 FDIS 投票に「賛成」で投票。 ・2010 年 10 月 27 日 IS 発行。 ・2015 年 9 月ヴィクトリア会議で見直し決定。 ・2016 年 3 月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2016 年 3 月「継続決定」。	90.93	CEN lead
ISO 16484-2:2004 (ビル自動管理制御システム 一第 2 部:ハードウェア) Building automation and control systems (BACS) - Part 2: Hardware	 ・2007 年 12 月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2009 年京都会議にて見直しが決定。 ・2014 年 3 月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2015 年 8 月締切 NP 投票および CEN lead で進めることに対する CIB 投票に「賛成」で投票。 ・2016 年 9 月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。 ・2018 年 9 月オスロ会議で DIS 削除決定(Resolution338) ・2018 年 10 月発行。 	90.93	CEN lead
ISO 16484-3: 2005(ビル自動管理制御システム 一第 3 部:機能) Building automation and control systems (BACS) - Part 3: Functions	 ・2008年上期に英日対訳版を出版。 ・2008年9月締切SR投票に「継続」で投票。 ・2009年京都会議にて見直しが決定。 ・2014年3月締切SR投票に「継続」で投票。 ・2019年6月締切SR投票に「修正」で投票。 	90.20	CEN lead
ISO/NP 16484-4 (ビル自動制御システム一第 4部:アプリケーション) Building automation and control systems - Part 4: Control applications	 Expert 不足により承認されていないが、日本としては 積極的に働きかけている。特に進捗無し。 2012年9月 La Rochelle 会議で NWIP として登録を決定。 2015年8月締切 NP 投票および CEN lead で進めること に対する CIB 投票に「賛成」で投票。 2018年9月オスロ会議で削除決定 (Resolution 339) 		CEN lead
ISO 16484-5:2017(Ed 6) (ビル自動制御システム 一第5部:データ通信プロトコル) Building automation and control systems (BACS) - Part 5: Data communication protocol	 ・05 年度に設立した維持機関(Maintenace Agency)にて内容をBACnetの2001ver.から2004年ver.への移行実施。 ・2007年7月締切FDIS投票に「コメント付き賛成」投票。 ・2007年3月15日IS(Ed2)発行 ・2009年2月締切FAmd1投票に「賛成」で投票。 ・2010年10月締切FDIS投票に「賛成」で投票。 ・2010年12月3日IS(Ed3)発行。 ・2012年6月締切FDIS(Ed4)に「賛成」で投票。 ・2012年7月27日ISとなる。 ・2014年2月締切FDIS(Ed5)投票に「賛成」で投票。 	60.60	ISO lead

	・2014年5月IS発行。 ・2016年6月Maintenace Agency Ballotで「賛成」投票。 ・2016年11月締切FDIS投票に「賛成」で投票。		
ISO 16484-6:2014 (ビル自動制御システム-第6部:データ通信-適合試験) Building automation and control systems (BACS) - Part 6: Data communication conformance testing	 ・2017年6月IS発行。 ・2005年11月締切FDIS投票に「賛成」で投票。 ・2009年1月締切FDIS投票に「賛成」で投票。 ・2009年3月9日IS発行。 ・2014年2月締切FDIS(Ed3)投票に「賛成」で投票。 ・2014年5月IS発行。 ・2019年4月SR投票開始(2019年9月2日締切)。 	90.20	ISO lead
ISO/WD 16484-7 (ビル自動制御システム-第7部: ビルのエネルギー性能への影響) Building automation and control systems(BACS) - Part 7, Contribution of BACS to energy performance of buildings	・2009 年京都会議にて CEN/TC247 主導にて審議が決定。 ・2012 年 9 月 La Rochelle 会議で CD 段階に進むこと決定。 ・2013 年 9 月締切 NWIP 投票に「コメント付き賛成」投票。 ・2013 年 9 月新規プロジェクトとして承認。 ・2014 年 9 月無錫会議にて 2015 年 12 月末までに期間を 延長して DIS に進めることとなった。 ・2016 年ベルリン会議にて 2 パートに分割が決定。 ・2017 年 9 月の東京会議で規格番号を削除し、新たに NP 52120-1 と 52127-1 への移行が決定。 (Resolution316)		CEN lead
ISO/PWI 17798 (ビル自動制御システムへのBIM 適用) Building information model (BIM) applications for building automation and control systems	 ・2011年シカゴ会議にて NWIP を登録することに決定。 ・2013年4月締切NP投票に「賛成」で投票。 ・2013年4月新規プロジェクトとして承認。 ・2015年9月ヴィクトリア会議で標準 BIM 作成のための国際的エキスパートの参加要請実施を決定。 ・2016年9月ベルリン会議で BIM 作成のために国際的エキスパートの参加要請実施を決定 (Resolution289)。 ・豊田委員と渡邊委員をエキスパート登録。 	00.00	
ISO 17800 :2017(Ed 6) (施設のスマートグリッド情報モデル) Facility smart grid information model	 ・2011 年シカゴ会議にて NWIP を登録することに決定。 ・2013 年 4 月締切 NP 投票に「賛成」で投票。 ・2013 年 4 月新規プロジェクトとして承認。 ・2015 年 8 月~10 月 ASHRAE でドラフトのコメント募集。 ・2015 年 9 月ヴィクトリア会議で CD 登録決定。 ・2015 年 9 月ヴィクトリア会議で ANSI バージョンの CDを 2016/4/22 までに DIS 投票実施を決定。 ・2016 年 3 月締切 CD スキップの CIB 投票に「賛成」投票。 ・2016 年 11 月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。 ・2017 年 12 月 IS 発行。 	60.60	
ISO/DIS 22510 (ビル自動制御及びビル管理におけるオープンデータ通信) Open Data Communication in Building Automation, Controls and Building Management - Home and Building Electronic Systems - KNXnet/IP	 ・NWI としてどの TC で扱うかの TMB 投票が 2016 年 12 月 締切で行われ、日本からは「ISO/IEC JTC1/SC25」で投票するも TC205/WG3 へ割り当てが決定。 ・2017 年 5 月締切の NP 投票に「反対」で投票。 ・2017 年 6 月新規プロジェクトとして承認。 ・2017 年 7 月締切の CEN lead で進めるかの CIB 投票に「棄権」で投票。 ・2018 年 6 月締切の DIS 投票に「賛成」で投票。 ・2019 年 2 月 21 日 DIS は承認された。 	40.99	CEN lead
ISO/CD 52120-1(ビル自動制御及びビル管理への影響) Energy performance of buildings - Contribution of building automation and controls and building management - Part 1: Modules M10-4,5,6,7,8,9,10	 ISO/WD 16484-7 から 2 パートに分割。 ・2017 年 12 月締切 NP 投票に「賛成」で投票。 ・2017 年 12 月締切の ISO lead で進めるか CEN lead で進めるかの CIB 投票に「CEN lead」で投票。 ・2018 年 9 月のオスロ会議で CD スキップ決定。 (Resolution340) 	30.99	ISO lead
ISO/WD TR 52120-2(技術報告書) Energy performance of buildings - Contribution of building automation and controls and building management - Part 2: Explanation and justification of ISO 52120-1	・2017年12月締切の技術報告書を加えるかのCIB投票に 「賛成」で投票。	20.20	ISO lead
ISO/CD 52127-1 (ビル自動制御及びビル管理ービル管理システム) Energy performance of buildings - Building automation, controls and building management - Part 1: Building management system (Modules M10-12)	 ・ISO/WD 16484-7 から 2 パートに分割。 ・2017 年 12 月締切 NP 投票に「賛成」で投票。 ・2017 年 12 月締切の ISO lead で進めるか CEN lead で進めるかの CIB 投票に「CEN lead」で投票。 ・2018 年 9 月のオスロ会議で CD スキップ決定。 (Resolution340) 	30.99	ISO lead
ISO/WD TR 52127-2(技術報告書) Energy performance of buildings - Building automation, controls and building management -	・2017年12月締切の技術報告書を加えるかのCIB投票に 「賛成」で投票。	20.20	ISO lead

Part 2: Explanation and justification of ISO 52127-1			
WG5 Indoor thermal environment (屋内温熱環境)			
NWIP Indoor humidity design for avoiding moisture damages (湿害防止のための屋内湿度設計) →JWG11 のプロジェクトへ	 ・2015年9月ヴィクトリア会議で日本からNWIP提案。立ち上げ決定(TC205/Resolution276) ・2015年9月ヴィクトリア会議で、このNWIPのために、TC163とTC205で専門家を募りTGを設立。リーダーは高田先生(TC163/Resolution8/2015)。 ・2015年12月締切NWIPのためのエキスパート募集とTG立ち上げのためのCIB投票(TC205&TC163)に、21名応募(その後DINから3名追加)。 ・2016年9月ベルリン会議でTC163とのJWG設立を決定。コンビーナは高田先生(TC205/Resolution307, TC163/Resolution7/2016) 		
ISO/NP 16815 (室内温度環境の設計と評価) Building environment design - Design and evaluation of indoor thermal environment	·2019年3月NP投票開始(2019年5月27日締切)。	10.20	
W	G7 Indoor visual environment (屋内視環境)		
ISO 16817:2017(Ed 2)(視環境の設計プロセス) Building environment design - Indoor environment - Design process for visual environment (初期提案時(2003)タイトルは Building environment design - Indoor visual environment)	・2009年6月締切CD投票に「コメント付き賛成」投票。・2010年9月締切DIS投票に「コメント付き賛成」投票。・2011年12月締切FDIS投票に「黄成」で投票。・2011年12月IS発行。・2011年シカゴ会議でNWIP(IS0 16817改定)投票決定。・2012年2月締切NWIP投票に「(設立)賛成」で投票。・2012年2月新規プロジェクトとして承認。・2015年2月締切CIB投票(CDスキップ)「賛成」投票。・2015年12月締切DIS投票「コメント付賛成」で投票。・2017年3月締切のFDIS投票に「賛成」で投票。・2017年5月IS発行。	60.60	
ISO/FDIS 19454 (視環境においてサステナビリティの原理を確保するための採光用開口部の設計プロセス) Building Environment Design - Indoor environment - Daylight opening design process in order to ensure sustainability principles in visual environment	 ・日本提案。 ・2012年 La Rochelle 会議の際、NWIP 投票の回覧が決定。 ・2013年 12 月締切 NWIP 投票に「賛成」で投票。 ・2014年9月無錫会議で Request for activation となる。 ・2015年1月新規プロジェクトとして承認。 ・2017年2月締切CD投票に「賛成」で投票。 ・2017年9月の東京会議でDIS投票へ進むことが決定。 ・2018年12月締切DIS投票に「賛成」で投票。 ・2019年3月28日DISは「承認」された。 	50.00	
ISO/CD 20734(屋内視環境のための昼光照明設計方法) Building environment design: Daylighting design procedure for indoor visual environment	・2014年9月無錫会議にて、NWIPとして投票にかけることになった。 ・2015年6月締切NP投票に「賛成」で投票。 ・2018年11月締切CD投票に「反対」で投票。	30.60	
WG8 R	adiant heating and cooling systems (輻射暖冷房システム)		
11855 series の title 変更 Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems (輻射暖冷房システムの設計、容量算定、設置 及び運転制御)	・2011 年シカゴ会議にて「Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems 」に title 変更が決定。		
ISO/CD 11855-1 (輻射暖冷房システムの設計、容量算定、設置及び運転制御一第1部:定義、記号並びに快適性の基準) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 1: Definition, symbols, and comfort criteria	 ・2008年12月締切CD投票に「賛成」で投票。 ・2010年11月締切DIS投票に「賛成」で投票。 ・DIS投票が「承認」されFDISに進んだ。 ・2012年7月25日IS発行。 ・2017年9月締切SR投票に「継続」で投票。 ・2017年9月の東京会議で技術的変更を含まない改訂を行うことが決定。(Resolution321) ・2019年3月締切CD投票に「賛成」で投票。 	30.60	ISO lead
ISO/CD 11855-2 (第2部:設計暖冷房能力の決定) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 2: Determination of the design heating and cooling capacity	 ・2008 年 12 月締切 CD 投票に「賛成」で投票。 ・2010 年 11 月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。 ・DIS 投票が「承認」され FDIS に進んだ。 ・2012 年 9 月 24 日 IS 発行。 ・2017 年 9 月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2017 年 9 月の東京会議で技術的変更を含まない改訂を 	30.60	ISO lead

	行うことが決定。 (Resolution321)		
	・2019年3月締切CD投票に「賛成」で投票。		
ISO/CD 11855-3 (第 3 部:設計並びに容量算定) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 3: Design and dimensioning	 ・2009年5月締切CD投票に「賛成」で投票。 ・2011年1月締切DIS投票に「賛成」で投票。 ・DIS投票が「承認」されFDISに進んだ。 ・2012年9月24日IS発行。 ・2017年9月締切SR投票に「継続」で投票。 ・2017年9月の東京会議で技術的変更を含まない改訂を行うことが決定。(Resolution321) ・2019年3月締切CD投票に「賛成」で投票。 	30.60	ISO lead
ISO/CD 11855-4(第4部: TABS の容量算定並びに計算) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 4: Dimensioning and calculation of the dynamic heating and cooling capacity of Thermo Active Building Systems (TABS)	 ・2009年5月締切CD投票に「賛成」で投票。 ・2010年11月締切DIS投票に「賛成」で投票。 ・DIS投票が「承認」されFDISに進んだ。 ・2012年7月25日IS発行。 ・2017年9月締切SR投票に「継続」で投票。 ・2017年9月の東京会議で技術的変更を含まない改訂を行うことが決定。(Resolution321) ・2019年3月締切CD投票に「賛成」で投票。 	30.60	ISO lead
ISO/NP 11855-5(第5部:設置) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 5: Installation	 ・2008 年 4 月に New project の登録。 ・2010 年 6 月締切 CD 投票に「賛成」で投票。 ・2011 年 7 月締切 DIS 投票「コメント付き賛成」で投票。 ・DIS 投票が「承認」され FDIS に進んだ。 ・2012 年 4 月 11 日 IS 発行。 ・2017 年 9 月締切 SR 投票に「継続」で投票。 ・2017 年 9 月の東京会議で技術的変更を含まない改訂を行うことが決定。 (Resolution321) 	10.99	ISO lead
ISO 11855-6:2018 (Ed 2) (第 6 部:運転制御) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 6: Control	・2008年4月にNew project の登録。 ・2010年9月締切CD投票に「コメント付き賛成」で投票。 ・2011年8月締切DIS投票に「コメント付き賛成」投票。 ・2012年11月締切FDIS投票に「賛成」で投票。 ・2012年11月15日IS発行。 ・2013年9月ストックホルム会議にて、見直しが決定。 ・2015年9月ヴィクトリア会議にてCDスキップ投票を経てDISに進むことになった。 ・2016年2月締切CIB投票(CDスキップ)に「賛成」投票。 ・2017年3月締切のDIS投票に「賛成」で投票。 ・2018年9月IS発行。	60.60	
ISO/PRF 11855-7(第7部:エネルギー計算の入力項目) Building environment design - Design, dimensioning, installation and control of embedded radiant heating and cooling systems - Part 7: Input parameter for the energy calculation	 ・2008年4月にNew project の登録。 ・2010年 Sydney 会議の際、工程遅れのため中止が決定。 ・2010年12月プロジェクト削除。 ・2015年9月ヴィクトリア会議で、パートタイトルを変更してNWIPとすることになった。 ・2016年5月締切NP投票に「賛成」で投票。 ・2016年5月新規プロジェクトとして承認。 ・2018年3月締切CD投票に「賛成」で投票。 ・2018年10月締切DIS投票に「賛成」で投票。 ・2019年2月1日DISは「承認」された。 	50.00	
18566 series の title 変更 Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling panel systems (循環式輻射暖冷房パネルシステムの設計、試験法並びに制御)	 ・2014 年 9 月無錫会議にて、メインタイトルとパートタイトル (Part2, 4, 5) の変更決定。 ・メインタイトル: Building Environment Design - Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling panel systems 		
ISO 18566-1:2017 (Ed 1) (第 1 部:定義、記号、技術仕様並びに必要条件) Building environment design - Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling panel systems - Part 1: Definition, symbols, technical specifications and requirements	・2012年 La Rochelle 会議の際、NWIP 投票の回覧が決定。 その際、ISO/NP18566 は、6 つのパートに分割決定。 ・2013年1月締切 NWIP 投票に「賛成」で投票。 ・2013年1月新規プロジェクトとして承認。 ・2014年7月~8月末までコメント募集(日本は送付無)。 ・2014年12月締切 CD 投票に「賛成」で投票。→承認 ・2015年9月ヴィクトリア会議で DIS に進むことが決定。 ・2016年6月締切 DIS 投票に「棄権」で投票。 ・2017年5月締切 FDIS 投票に「賛成」で投票。	60.60	
ISO 18566-2:2017 (Ed 1) (第 2 部: 天井据付輻射パネルの暖冷房能力の決定) Building environment design - Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling	・2014年4月新規プロジェクトとして承認。 ・2014年7月~8月末までコメント募集(日本は送付無)。 ・2014年9月無錫会議にてPL(ドイツ)決定。 ・2014年12月締切CD投票に「賛成」で投票。→承認	60.60	

panel systems - Part 2: Determination of heating and cooling capacity of ceiling mounted radiant panels	 ・2015年9月ヴィクトリア会議でDIS に進むことが決定。 ・2016年6月締切DIS 投票に「反対」で投票。 ・2017年5月締切FDIS 投票に「賛成」で投票。 ・2017年7月IS発行。 		
ISO 18566-3:2017 (Ed 1) (第 3 部: 天井据付輻射パネルの設計) Building environment design - Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling panel systems - Part 3: Design of ceiling mounted radiant panels	・2017 年 7月 15 発刊。 ・2013 年 1 月新規プロジェクトとして承認。 ・2014 年 4 月 Resolution226 時のタイトル(Test facility for thermal output of ceiling mounted radiant heating and cooling panels) のプロジェクトは却下。 ・2014 年 7 月~8 月末までコメント募集(日本は送付無)。 ・2014 年 12 月締切 CD 投票に「賛成」で投票。→承認 ・2015 年 9 月ヴィクトリア会議で DIS に進むことが決定。 ・2016 年 6 月締切 DIS 投票に「棄権」で投票。 ・2017 年 5 月締切 FDIS 投票に「賛成」で投票。 ・2017 年 7 月 IS 発行。	60.60	
ISO 18566-4:2017 (Ed 1) (第 4 部: 天井据付輻射 暖冷房パネルの運転制御) Building environment design - Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling panel systems - Part 4: Control of ceiling mounted radiant heating and cooling panels	・2013 年 3 月新規プロジェクトとして承認。 ・2013 年 3 月新規プロジェクトとして承認になった元のタイトル (Test method for cooling capacity of ceiling mounted radiant panels) の方は2014 年 4 月に却下。 ・2015 年 1 月締切 CD 投票に「賛成」で投票。→承認・2015 年 9 月ヴィクトリア会議でDIS に進むことが決定。・2016 年 6 月締切 DIS 投票に「棄権」で投票。・2017 年 5 月締切 FDIS 投票に「賛成」で投票。・2017 年 7 月 IS 発行。	60.60	
ISO/NP TR 18566-5(第 5 部:技術報告書)	・2013年3月新規プロジェクトとして承認。	10.99	
Building environment design - Design, test methods and control of hydronic radiant heating and cooling panel systems - Part 5: Technical report	 ・2013 年 3 月新規プロジェクトとして承認になった元のタイトル (Test method for heating capacity of ceiling mounted radiant panels) の方は2014年4月に却下。 ・2014年4月TRとして新規プロジェクト承認。 ・2014年9月無錫会議にてPLが秋元先生に決定。 		
ISO/PRF 18566-6 (第6部:エネルギー計算の入	・2015年9月ヴィクトリア会議で18566-5をNWIPとして	50.00	
力項目) Building environment design - Design, test method	別の IS 規格とし、現在の-5 を-6 とすることが WG8 より Resolution 提案されたが、採決延期となった。		
and control of radiant heating and cooling panel systems - Part 6: Input parameter for the energy calculation	・2016 年 5 月締切 NP 投票に「賛成」で投票。TR の番号の付け替えはせず、新規提案を-6 とすることになった。・2018 年 3 月締切 CD 投票に「賛成」で投票。・2018 年 10 月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。・2019 年 1 月 31 日 DIS は「承認」された。		
WG	9 Heating and cooling systems		
ISO 13612-1:2014(ヒートポンプシステムのシ	(暖冷房システム) ・2009 年 6 月締切 NWIP 投票に「賛成」で投票。	90.20	
ステム効率の計算法並びにシステム設計 - 第 1 部:設計並びに容量算定)	・2010 年 Sydney 会議にて Part1&2 に分割が決定。 ・2011/5 月 CD 投票に「コメント付き賛成」で投票。	90.20	
Heating and cooling systems in buildings - Method for calculation of the system performance and system design for heat pump systems - Part 1: Design and dimensioning	・CD 投票が「承認」され DIS に進んだ。 ・2012 年 10 月締切 DIS 投票に「コメント付き賛成」投票。 ・2014 年 3 月締切 FDIS 投票に「コメント付き賛成」投票。 ・2014 年 5 月 IS 発行。 ・2019 年 4 月 SR 投票開始(2019 年 9 月 2 日締切)。		
ISO 13612-2:2014 (ヒートポンプシステムのシステム効率の計算法並びにシステム設計 - 第 2 部:エネルギー計算) Heating and cooling systems in buildings - Method for calculation of the system performance and	 ・2009年6月締切 NWIP 投票に「賛成」で投票。 ・2010年 Sydney 会議にて Part1&2 に分割が決定。 ・2011/5月 CD 投票に「コメント付き賛成」で投票。 ・CD 投票が「承認」され DIS に進んだ。 ・2012年10月締切 DIS 投票に「コメント付き賛成」投票。 	90.20	
system design for heat pump systems - Part 2: Energy calculation	・2014年3月締切 FDIS 投票に「コメント付き賛成」投票。 ・2014年5月 IS 発行。 ・2019年4月 SR 投票開始(2019年9月2日締切)。	00.60	
ISO 13675:2013 (燃焼系システムのシステム効率の計算法並びにシステム設計) Heating systems in buildings - Method and design for calculation of the system energy performance - Combustion systems (boilers)	 ・2009年7月締切 NWIP 投票に「棄権」で投票。 ・2011年5月CD 投票に「棄権」で投票。 ・CD 投票が「承認」され DIS に進んだ。 ・2012年6月締切 DIS 投票に「棄権」で投票。 ・2013年10月締切 FDIS 投票に「棄権」で投票。 ・2013年11月IS 発行 ・2019年3月締切 SR 投票に「棄権」で投票。 	90.60	
ISO/NP 20276(一般原則とエネルギー性能表現) Heating and cooling systems in buildings - General and Energy performance expression	・2013 年 9 月ストックホルム会議で NWIP として提案する ことが決定し、ISO/PWI 19483 から規格番号変更。 ・2014 年 12 月締切 NP 投票に「賛成」で投票。 ・2015 年 4 月新規プロジェクトとして承認	10.98	Check VA (ISO lead)

	・2018 年 9 月オスロ会議で削除決定(Resolution342)		
ISO/NP 20277(暖冷房負荷の複合計算法)	・2018 年 9 月 7 入口 会議 で IN M C (Resolution 342) ・2013 年 9 月 ストックホルム会議で NWIP として提案する	10.98	Check
Combined calculation procedure for heating and	ことが決定し、ISO/PWI 19482 から規格番号変更。	10.36	VA
cooling load	・2014年12月締切 NP 投票に「賛成」で投票。		(ISO
cooming route	・2014 年 12 月 神切 Nr		lead)
			ĺ
	・2018 年 9 月オスロ会議で削除決定 (Resolution 343)	10.00	
ISO/DIS 52031 (暖冷熱空間放出システム)	・2016 年 9 月ベルリン会議で新規プロジェクトとして登	40.60	
Energy performance of buildings - Space emission	録を決定。 (Resolution302)		
systems (heating and cooling)	・2017年4月締切NP投票に「賛成」で投票。		
	・2017年6月新規プロジェクトとして承認。		
	・2018年7月締切CD投票に「コメント付き賛成」で投票。		
	・2019 年 4 月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。		
	WG10 Commissioning (コミッショニング)		
2012 年 La Rochelle 会議にて設立決定(Resolutio	n227、日本提案)。当初提案の WG 名は「Design of HVAC Sys	tem Assui	ning
Performance Verification Plan .			8
ISO/DIS 19455-1 (建築物のコミッショニングの	・日本提案。	40.99	
ための機能性能試験方法 第1部:二次ポンプ	・2013 年 12 月締切 NWIP 投票に「賛成」にて投票。	40.00	
変流量システム)	・2013年12月補助NWIP 投票に「賃成」にて投票。・2014年1月 Expert の人数が足りず、プロジェクト却下。		
Planning for functional performance testing for	- 2014 年 1 月 Expert の人数が足りり、プロンエクトは下。 - 2014 年 9 月無錫会議にて、Expert を再度募り、審議を		
building commissioning - Part 1: Secondary pumps			
of variable water volume system	継続することが決定。		
(初期提案時タイトルはPerformance	・2015 年 9 月ヴィクトリア会議で、9 月末までに WD を作		
Verification Process for Secondary Pump Systems	成し、再度NWIP投票を実施することとなった。		
in HVAC Systems)	・2015年12月再度のNP投票開始(締切3/19)。		
III II v re systems)	・2016年4月新規プロジェクトとして承認。		
	・2016年9月ベルリン会議でプロジェクト名変更を決定。		
	・2018年7月締切のCD投票に「賛成」で投票。		
	・2019 年 3 月締切 DIS 投票に「賛成」で投票。		
ISO/PWI 19455-2 (第2部:空調ユニット変風量	・2016 年 9 月ベルリン会議で新規プロジェクトとして登	00.00	
システム)	録を決定。(Resolution305)。		
Planning of functional performance testing for			
building commissioning - Part 2: Air-handling unit			
of variable air volume system			
ISO/WD 22708(高性能ビルコミッショニング)	・2017年7月締切 NP 投票に「賛成」で投票。	20.98	
High Performance Building Commissioning	・2017年9月新規プロジェクトとして承認。		
	・2017 年 9 月東京会議でプロジェクト名を変更すること		
	を決定。(Resolution327)。		
	・2018年9月オスロ会議で削除決定(Resolution344)		
JWG11 M	Noisture damage (TC163 & TC205 JWG)		
2016 年 0 日 ベルリン 全議で TC162 レの TWC 塾立	(湿害) を決定。コンビーナは高田先生 (TC205/Resolution307, TC163	/Pagalut	ion7)
2016年10月TC205のJWG11として設立。	を依定。コンピー)は同田元主(16200/Resolution307, 16103	/ Kesoiut	10117) 0
ISO/WD 22185 (湿害防止のための建築部材及	・2015年9月ヴィクトリア会議で日本から NWIP 提案。	20.20	
び建築環境設計)	・2015 年 9 月 ヴィクトリア会議で、この NWIP のために、		
Design of building components and built	TC163 と TC205 で専門家を募り TG 設立。PL は高田先生。		
environment for avoiding moisture damages	・2015 年 12 月締切 NWIP のためのエキスパート募集と TG		
(初期提案時タイトルは Indoor humidity design	立ち上げのための CIB 投票 (TC205&TC163) に、21 名応		
for avoiding moisture damages)	夢(その後 DIN から 3 名追加)。		
	- 2017 年 2 月締切 NP 投票に「賛成」で投票。		
	・2017 年 5 月新規プロジェクトとして承認。		
	・2017 年 9 月の東京会議で 4 パートへの分割を決定。		
	・2018年4月締切のWD投票に「賛成」で投票。		